

四日市公害とは

約半世紀前、当時の日本は戦後復興から高度経済成長期に入りました。経済優先の社会背景のもと、本市を含む全国各地に大規模な工場が次々と建設され、工場周辺ではさまざまな公害が発生しました。

本市でも、大気汚染によって多くの人々がぜん息に罹患（りかん）するなど「四日市公害」と呼ばれる深刻な公害問題が生じました。

こうした状況を受けて、全国に先駆けて昭和40年に本市が実施した公害健康被害者に対する医療費救済制度、そして昭和42年に提起された四日市公害裁判などは、日本の公害問題の解決への道を開き、産業の発展と環境保全を両立させるきっかけとなりました。

市民、企業、行政が一体となった環境改善の取り組みにより、昭和51年度には、ぜん息の主な原因とされる二酸化硫黄濃度が、国の基準を市内全域でクリアするなど、大幅に環境が改善されました。



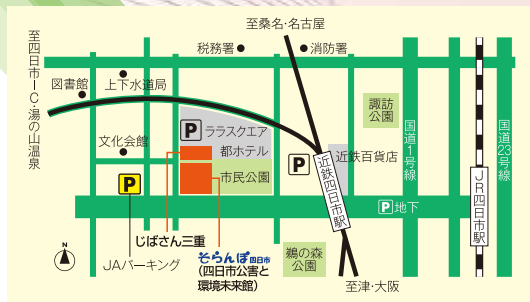
塩浜小学校でうがいをする児童
（澤井余志郎氏撮影）



100メートル以上の高煙突の建設



昭和30年代半ばのコンビナート



アクセス

- 近鉄四日市駅下車 西へ徒歩3分
- JR四日市駅下車 西へ徒歩20分
（JR四日市駅～近鉄四日市駅間 路線バス4分）

※JAパーキング（安島二丁目）をご利用の方はサービス券をお渡しします。
受付まで駐車券をご提示ください。

開館時間

- 9:30～17:00（ただし、展覧会への入場は16:30まで）

休館日

- 月曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始・臨時休館日

入館料

- 無料

※特別展・企画展は展覧会ごとに定めます。

そらんぽ四日市 四日市公害と環境未来館

〒510-0075 四日市市安島一丁目3番16号 四日市市立博物館2階
TEL:059-354-8065（代）

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/yokkaichikougai-kankyomiraikan/>

この印刷物は、再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。

未来へ、より良い環境を引き継ぐために

「四日市公害と環境未来館」にご来館いただき、誠にありがとうございます。

四日市市では、昭和30年代に四日市公害が発生し、多くの人が公害病に苦しみました。その歴史と教訓を次世代に伝えるとともに、環境改善の取り組みや産業の発展と環境保全を両立したまちづくり、さらには、その経験から得た知識や環境技術を広く国内外に情報発信することを目的に「四日市公害と環境未来館」を開館しました。

当館では、四日市公害の発生に至る経緯や被害、環境改善に向けたさまざまな方策等について、子どもから大人までを対象に、映像や写真、絵本などを用いてわかりやすく展示しております。

また、「四日市市立博物館」の常設展示や「プラネタリウム」と一緒にご覧いただくことで、私たちの生活と環境との結びつきを理解したり、地球規模で環境を考えたりすることができる施設となっています。

未来へ、より良い環境を引き継いでいくために当館で学び、家庭や地域での環境活動につなげていただければ幸いです。



そらんぽ四日市 四日市公害と環境未来館

四日市市立博物館 1階 2階 じばさん三重 2階



現在のコンビナート

未来に豊かな環境を引き継ぐために――



- 1 産業の発展とくらしの変化
近代以降の港の発展、戦争を経てコンビナートが立地するまでの四日市市の様子を、当時の写真やくらしの再現によって知ることができます。



- 2 公害の発生
戦後、全国で大気汚染が問題に…工業都市四日市でも多くの苦情や深刻な健康被害が…当時の写真や貴重な音源から、公害の歴史と被害の深刻さを伝えています。



- 3 まちづくりの変遷
1889年に誕生した四日市町が現在の姿になるまでを、四日市市の模型に映像を投影し解説しています。

歴史を知る 展示エリア

博物館2階



- 四日市公害裁判シアター
1967年、磯津の公害認定患者がコンビナート企業を相手に裁判を起こします。当時の資料や証言を交えた映像から、四日市公害裁判とその影響を解説しています。



- 4 環境改善の取り組み
市民・企業・行政一体の環境改善の取り組みと国際貢献について紹介しています。



- 5 現在の四日市
伊勢湾と鈴鹿山脈に囲まれた豊かな自然と、環境に配慮しながらイノベーションを行なう四日市の産業の姿を紹介しています。



- 6 環境先進都市四日市
地球規模で拡大する環境問題を伝え、市の取り組みを紹介しています。未来に向けて私たちができることを考えてみましょう。

未来に向けて
メッセージを
書こう!

教訓から学ぶ 学習エリア

博物館1階



- 7 研修・実習室
昭和40年頃の塩浜小学校をイメージしています。語り部の話を聞いたり環境学習に参加したりすることで、これからの環境を考えることができます。



- 8 図書コーナー
公害や環境に関する書籍・資料を整備。ゆったりとした学習スペースや図書の貸し出しを利用して、館での学びをさらに深めることができます。

未来に役立つ 活動エリア

じばさん三重2階



四日市を拠点に、環境活動の発信の場に

博物館北側の「じばさん三重」2階には、活動室・交流室・展示スペースが設けられています。エコパートナーとして登録いただくことでご利用いただけます。

エコパートナーとは、四日市市環境計画に基づいて市と協働で環境学習、環境活動を行っていただける団体・個人等を指します。随時募集しておりますので、詳しくはお問い合わせください。

携帯情報端末でもっと広がる

館内では、携帯情報端末(iPad)の貸し出しを行っています。携帯情報端末では音声ガイド、外国語(英語・中国語)解説、用語解説やクイズに対応しており、その場で知識を深めることができます。